

## リチウムイオン電池を動力とする小型電気バス、公道に初登場！！

～高性能リチウムイオン電池を動力とする小型電気バス・急速充電装置の開発～

経済産業省委託事業である小型電気バスおよび急速充電装置の開発\*が完了し、実走行試験を実施しています。今回は、その特徴を紹介します。

\* 管理法人の北陸産業活性化センターをはじめ、当社とその他6社の共同研究体（コンソーシアム）で受託した研究開発事業



技術開発・環境保全センター  
技術開発チーム 森野 弘樹さん

### 小型電気バスの特徴

国内初のリチウムイオン電池を動力とする純電気バス

- ・ 定員：28名
- ・ 性能：最高速度 90km/h  
航続距離 100km
- ・ 充電：通常充電（夜間の100%充電には8時間）  
急速充電（昼間の50%補充電には30分）



- CO<sub>2</sub>を排出せずに走行できる電気バスの利用により、環境改善に貢献できます。

〔小型ディーゼルエンジンバスと比較して〕

- ・ CO<sub>2</sub>排出量：約1/3
- ・ 燃費：約1/8

- 地域循環型小型バス（コミュニティバス）や教育機関・工場などの送迎用バスなどへの活用が期待されます。

### 急速充電装置の特徴

大容量電池に対応した国内最大容量の急速充電装置

- ・ 30分で50%容量まで充電が可能
- ・ 入力：交流3相400V
- ・ 出力：直流400V・260A
- ・ 最大出力：104kW



平成18年9月25~30日：自動車テストコースにて性能試験

10月23~28日：横浜で開催された第22回国際電気自動車シンポジウム（EVS22）にて展示発表

平成19年1月23日：プレス発表

2月～：北陸地域・富山市内の公道にて実走行試験



EVS22 出展



プレス発表

### 今後の予定

北陸地域で開催されるイベントや環境フェアなどにて展示・試乗会を行い、多くの地域の方々に触れていただく予定にしています。